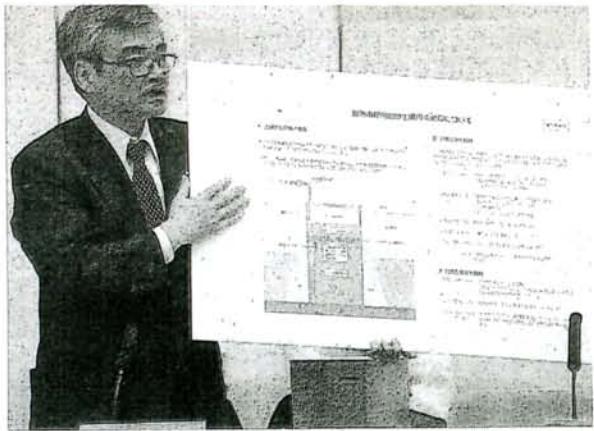


市場で働く人ら「オーラム

豊洲移転やめるしかない

築地再整備でがんばろう



パネルを示して質問する、そねはじめ都議
2017年4月18日、都議会豊洲市場移転問題特別委員会



活発に意見交換する市場業者ら
2017年4月18日、東京・築地市場

豊洲、無害化されていない

都議会委でそね都議が指摘

日本共産党的、そねはじめ東京都議は18日の都議会豊洲市場移転問題特別委員会で、築地市場の移転先としている豊洲新市場予定地（江東区の東京ガス工場跡地）の土壤汚染対策について、都が汚染土壌を「無害化された安全な状態」にすると約束を達成できていないと指摘し、土壤汚染対策を提言した専門家会議の委員を参考人招致するよう提案しました。

当部長は「対策を実施したが、目指してきた

そね氏は、1月の第9回地下水モニタリング調査とその後の再調査で環境基準を大幅に上回るベンゼンなどが検出されたことを挙げ、「豊洲予定地の地下には相当量の汚染が残っている可能性が高い」と強調。豊洲移転計画を検証している都の市場問題プロジェクトチーム（PT）が豊洲予定地の「無害化された安全な状態は達成されていない」と指摘したことについて、都中央卸売市場の認識をただしました。

村井良輔基盤整備担当部長は「対策を実施したが、目指してきた

上に築地をマイナスイメージで言っている。築地で働く一人ひとりの声を都民、国民に伝えたい」と述べました。

豊洲新市場に盛り土がなかったことについて、「盛り土していいのかどうかが意見交換する築地市場関係者フォーラムを開きました。集いは、東京魚市場卸協同組合の総代、理事や青果仲卸業者が呼びかけ、200人以上が集まりました。開会あいさつで、水産仲卸「鈴友三浦水産」の三浦進さんが「自民党さんが必要ない」「水産と青果のない」「水産と青果のない」

豊洲新市場の構造についても「店のスペースが狭く、営業に必要なシンクの流し、マグロ解体機、包丁、ゴミ箱、すべてを設置できない」と怒りの声が相次ぎました。

豊洲新市場の構造についても「店のスペースが狭く、営業に必要なシンクの流し、マグロ解体機、包丁、ゴミ箱、すべてを設置できなかった」と怒りの声が相次ぎました。

仲卸「山八」の熊川正敏さんは「築地跡地がほしい人たちに負けたくない。築地再整備でがんばりたい。協力してほしい」と呼びかけました。

フォーラムでは、思想家の中沢新一氏、建築家の兼松総一郎、森山高至西氏をパネリストにシンポジウムを行いました。豊洲新市場問題を守りたいのは事実だ」と認めました。

築地再整備でがんばろう

調査力・提案力、
実現力のそね都議

2017.4.20.「さがりレポート」No.1475.

豊洲のいのちとくらし。築地の女将さん、業者のみなさんと
都民・消費者が力をあわせ、守ろう！築地市場

学びあり、
語りあわせて